



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,786	8.6	290	531.1	256	—	146	—
25年3月期第2四半期	8,089	10.0	46	—	11	—	△72	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 143百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △82百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.83	6.71
25年3月期第2四半期	△3.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,669	5,192	37.9
25年3月期	13,927	5,049	36.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,186百万円 25年3月期 5,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	2.0	400	115.1	310	31.9	200	△34.6	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,504,347 株	25年3月期	21,504,347 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	111,937 株	25年3月期	111,437 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	21,392,708 株	25年3月期2Q	21,395,078 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
 当社は、平成25年11月18日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策等により円安・株高が進行した結果、輸出の伸びと個人消費の改善等の後押しを受けながら緩やかな回復がみられました。一方、円安に伴う原材料・エネルギー価格の上昇や消費税増税、海外の景気減速懸念等もあり、先行きは引き続き不透明感が残る状況であります。

外食業界におきましても、個人消費が改善の兆しを見せておりますが、一方で、原材料・エネルギー価格が上昇する等、経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループの主力である焼き肉業界は、夏場の天気にも恵まれ、また、「ハレの日」需要が上向き、比較的順調に回復しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高87億86百万円（対前年同期比8.6%増）、営業利益2億90百万円（対前年同期比531.1%増）、経常利益2億56百万円（前年同期は11百万円の利益）、四半期純利益1億46百万円（前年同期は72百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は199店舗であります。内訳は直営160店舗、暖簾5店舗、F C 34店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「スポーツ家族応援フェア」、「生ビール&焼肉スクラッチフェア」、「元気いっぱい“ごちそうさま!”フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや夏季限定「涼やか冷麺」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は74億81百万円（対前年同期比8.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は4億81百万円（対前年同期比85.8%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「春のお祝い祭り」、「初夏の行楽焼肉フェア」、「生ビールチャレンジ祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや韓国氷菓パッピンス等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は9億88百万円（対前年同期比7.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は81百万円（対前年同期比32.8%増）となりました。

③ その他業態

当第2四半期連結累計期間に暖簾1店舗を直営化し、直営1店舗を閉鎖した結果、その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は15店舗であります。内訳は直営8店舗、暖簾1店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「まんぼく（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は3億15百万円（対前年同期比5.6%増）となり、セグメント損失（営業損失）は11百万円（前年同期はセグメント損失27百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億58百万円減少し、136億69百万円となりました。これは主に、売掛金が減少したこと、有形固定資産の減価償却等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円減少し、84億76百万円となりました。これは主に、買掛金、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加し、51億92百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、28百万円減少し、13億17百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額92百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上2億29百万円、補助金の受取額93百万円等により2億99百万円の収入となり、前年同期と比べ1億79百万円の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入56百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出54百万円、無形固定資産取得による支出15百万円等により30百万円の支出となりました。前年同期は1億93百万円の収入でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額1億14百万円、長期借入金の返済による支出2億5百万円等により2億98百万円の支出となり、前年同期と比べ1億70百万円の支出の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,349,391	1,319,645
受取手形及び売掛金	349,778	274,378
商品及び製品	99,118	117,807
仕掛品	877	1,325
原材料及び貯蔵品	230,831	282,210
前払費用	202,822	200,619
繰延税金資産	78,741	47,823
その他	175,260	145,711
流動資産合計	2,486,822	2,389,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,399,785	2,291,929
機械装置及び運搬具（純額）	17,193	22,255
工具、器具及び備品（純額）	180,193	175,822
土地	5,627,685	5,627,685
リース資産（純額）	20,393	17,204
有形固定資産合計	8,245,251	8,134,897
無形固定資産		
投資その他の資産	103,027	105,566
投資有価証券	82,914	80,762
長期貸付金	883,532	859,043
長期前払費用	23,188	24,367
繰延税金資産	10,065	35,424
敷金及び保証金	2,765,966	2,713,523
その他	63,935	62,513
貸倒引当金	△736,772	△736,369
投資その他の資産合計	3,092,830	3,039,266
固定資産合計	11,441,109	11,279,729
資産合計	13,927,931	13,669,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	526,125	426,903
短期借入金	6,145,601	5,838,140
リース債務	8,875	8,875
割賦未払金	6,961	3,126
未払金	249,297	321,680
設備関係未払金	19,092	26,452
未払費用	495,523	467,481
未払法人税等	123,561	101,348
未払消費税等	94,716	67,938
賞与引当金	64,124	64,480
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	497,673	476,669
流動負債合計	8,234,770	7,806,314
固定負債		
長期借入金	—	20,724
リース債務	21,901	17,463
長期割賦未払金	389	4,331
繰延税金負債	116,278	116,851
退職給付引当金	133,637	134,772
役員退職慰労引当金	270,791	277,530
転貸損失引当金	28,149	26,541
その他	72,034	72,034
固定負債合計	643,180	670,248
負債合計	8,877,951	8,476,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△602,977	△456,967
自己株式	△67,273	△67,469
株主資本合計	5,049,395	5,195,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,116	△8,901
その他の包括利益累計額合計	△6,116	△8,901
新株予約権	6,700	6,380
純資産合計	5,049,979	5,192,688
負債純資産合計	13,927,931	13,669,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,089,676	8,786,404
売上原価	2,983,153	3,177,338
売上総利益	5,106,522	5,609,065
販売費及び一般管理費	5,060,410	5,318,069
営業利益	46,112	290,995
営業外収益		
受取利息	16,990	16,430
受取配当金	1,027	1,033
受取地代家賃	5,536	5,511
貸倒引当金戻入額	323	343
その他	27,574	22,461
営業外収益合計	51,451	45,781
営業外費用		
支払利息	80,451	73,829
その他	5,921	6,073
営業外費用合計	86,373	79,903
経常利益	11,191	256,874
特別利益		
固定資産売却益	1,079	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1,079	0
特別損失		
固定資産除却損	7	1,756
減損損失	42,841	10,264
賃貸借契約解約損	5,628	15,434
特別損失合計	48,476	27,455
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,206	229,418
法人税、住民税及び事業税	34,480	77,849
法人税等調整額	2,096	5,558
法人税等合計	36,577	83,408
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,783	146,010
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,783	146,010

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,783	146,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,320	△2,785
その他の包括利益合計	△9,320	△2,785
四半期包括利益	△82,104	143,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,104	143,225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,206	229,418
減価償却費	176,385	179,947
減損損失	42,841	10,264
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△373	△403
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,510	355
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,918	1,135
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,591	6,739
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,072	△1,608
受取利息及び受取配当金	△18,018	△17,464
支払利息	80,451	73,829
為替差損益(△は益)	2	△2
固定資産売却損益(△は益)	△1,079	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
固定資産除却損	7	1,756
賃貸借契約解約損	5,628	15,434
売上債権の増減額(△は増加)	28,235	75,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,627	△70,517
前渡金の増減額(△は増加)	4,217	△44,329
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,489	△99,221
未払金の増減額(△は減少)	39,739	67,939
未払消費税等の増減額(△は減少)	35,700	△19,194
未払費用の増減額(△は減少)	△5,609	△23,185
預り金の増減額(△は減少)	△19,446	18,731
前受収益の増減額(△は減少)	△25,497	△30,444
その他	4,737	△19,202
小計	259,547	355,376
利息及び配当金の受取額	16,670	16,231
利息の支払額	△80,108	△73,455
補償金の受取額	—	6,500
補助金の受取額	—	93,208
店舗閉鎖に伴う支払額	△3,428	△5,943
法人税等の支払額	△71,953	△92,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,726	299,777

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△80,691	△54,364
有形固定資産の売却による収入	154,079	—
無形固定資産の取得による支出	△14,194	△15,678
投資有価証券の取得による支出	△59	△60
敷金及び保証金の差入による支出	△10	—
敷金及び保証金の回収による収入	130,291	56,948
貸付金の回収による収入	646	2,486
預り保証金の受入による収入	3,049	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	641	△20,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	193,752	△30,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21,201	△114,208
長期借入れによる収入	—	33,000
長期借入金の返済による支出	△402,412	△205,529
割賦債務の返済による支出	△41,376	△6,997
リース債務の返済による支出	△3,266	△4,226
自己株式の取得による支出	△537	△196
その他	△300	△320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469,094	△298,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△154,618	△28,746
現金及び現金同等物の期首残高	996,849	1,346,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,231	1,317,630

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,867,606	922,778	299,291	8,089,676	8,089,676	—	8,089,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,867,606	922,778	299,291	8,089,676	8,089,676	—	8,089,676
セグメント利益又は 損失(△)	259,274	61,146	△27,026	293,394	293,394	△247,281	46,112

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19,325千円であります。

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,516千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,481,661	988,769	315,974	8,786,404	8,786,404	—	8,786,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,481,661	988,769	315,974	8,786,404	8,786,404	—	8,786,404
セグメント利益又は 損失(△)	481,670	81,230	△11,951	550,950	550,950	△259,954	290,995

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,264千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。